

学校関係者評価報告書

(令和 6 年度)

令和 7 年 3 月 27 日

学校法人国際総合学園

国際スノーボード & スケートボード専門学校

学校関係者評価委員会（議事録 報告書）

日 時 令和7年3月27日（木）16時～17時

場 所 国際スノーボード&スケートボード専門学校 校長室

出席者 【委員】

- ・大澤 実（アウトドアソリューション代表）
- ・藤沼 到（PSA ASIA 理事）
- ・清水 健夫（学校長）
- ・植木 潤（副校長）
- ・田地野晶男（教務部長） 計5名

次 第

1、開会

学校長挨拶

2、委員紹介

田地野より委員紹介、学校関係者評価委員会規定及び目的について説明

3、議題

（1）令和6年度自己評価について

- ・各評価項目における現状、課題と改善策について報告

（2）令和6年度学校向上アンケート（学生、保護者、職員）について

- ・学生、保護者、職員アンケートより学校運営状況について報告

（3）その他

- ・委員より、意見を頂き後述の通り

4、閉会

学校自己評価報告書、学校運営状況について下記の意見を頂いた。

大澤委員

- ・学校の認知度、学生募集についての状況はどうか。
- ・ニッチな分野、スノーボードとスケートボードは、とがった分野でもあるため、強みや良さを出していく必要があるのではないか。

- ・広報、入学募集について、情報発信の仕方を工夫する。出口戦略も必要になってくる。

藤沼委員

- ・業界就職を目指すのであれば、スケートボード業界への認知拡大が必要なのではないか。
- ・メーカーや代理店、大手ショップなどと連携した授業や実習もよいのではないか。

委員からの意見もとに、学校運営を改善していく

- ①学校の魅力を伝え学校の認知度拡大を図る。現在、SNS を中心とした入学対象者をターゲットとして募集戦略として運営している。
- ②教務については、教育実績をしっかりと積み上げていく。教育連携、地域貢献を主とした授業を展開し学生の学び、実践力を身につけられるよう進める。
- ③スケートボード学科が完成年度であった。卒業生 3 名は、業界就職の進路実績となった。

資 料

- ①学校関係者評価委員会規定
- ②委員名簿
- ③学校自己評価
- ④学生意識調査
- ⑤学校向上アンケート（保護者）
- ⑥学校向上アンケート（職員）

以上